

ロータリーソングよもやま話 2の2

代表的なロータリーソング

日本で唄われる「我等の生業」は一業一人制のロータリアンがクラブを結成し、平和と親睦の目的に向かって、「クラブ奉仕」・「職業奉仕」・「社会奉仕」・「国際奉仕」の4大部門を通じて努力するという内容です。特に歌詞には職業奉仕の重要性が強く謳われています。

「奉仕の理想」は大体同じ内容ですが、自己の職業奉仕を通じて世のため、人のためになるように、最終的には世界平和が永遠に続くことを願望している歌詞です。

以上2つのソングはロータリーの代表的ソングであり、リズムも多少スローテンポで厳肅さがにじみ、身の引き締まる感がするので、通常大会や協議会の開会時やクラブ例会の開会・閉会時によく合唱されます。

「手に手つないで」はロータリーの拡大と親睦を内容として歌われ、クラブの会員結束と世界平和に向かって努力しようというリズムカルで、歌いやすいソングです。

「それでこそロータリー」は軽快なリズムにのったメロディーで1番の歌詞で会員同志の親睦を、2番では社会のため平和のため努力するという内容になっています。

知っておきたいロータリーソング

「日も風も星も」作詞 楠本健吉 作曲 古関裕而

この歌は福島が産んだ日本音楽界の重鎮、古関裕而が作曲したロータリーソングで、昭和48年、東京世田谷ロータリークラブの創立10周年記念事業として作られたものです。古関裕而は昭和50年に同クラブの第14代会長を務めました。福島のロータリアンとしては是非覚えて頂き、折に触れて歌いたい曲の一つです。

「Sing Everyone Sing」

福島クラブでは、外国からのロータリアンや米山奨学生が来訪する際に英語のロータリーソングを歌唱し、歓迎の意を表しています。このSing everyone singはイタリア民謡「海に来よ」が元歌で、とてもリズムカルで気持ちのいい歌です。英語の歌詞で早口の部分もありますが、是非レパートリーに入れておくと重宝すると思います。

★★よくある質問★★

国歌「君が代」を歌う場合のソングリーダーの作法

国歌を歌う際には、全員起立して国旗に注目して歌うのが常識とされています。その場合の指揮者（ソングリーダー）も全員の前で指揮はせずに、国旗に注目してともに歌うことが望ましいでしょう。

タクト（指揮棒）を使うか否か

この問題については、一般的にオーケストラを振るときは基本的にタクトを使用して、合唱などを振るときにはタクトは使用しない場合が多いようです。オーケストラにタクトを使用する理由として、オーケストラは同じ楽器を演奏する奏者が多いため、細かく指示をするため、またオペラピットに入っている場合、歌手が指揮者を見にくいからとの理由からようです。これに対して、タクトを使用せず、素手で指揮をすると感情が入れやすいからと言われます。いずれにせよ、素手で指揮が出来ることが基本ですから、普段からタクトに頼らない習慣をつけておくと良いでしょう。

例会で流すロータリーソングは歌詞つきかカラオケか

歌付きの CD を普段から使用していると、ただ口をパクパクさせているだけで、歌っていない会員も多く、ロータリーソングの趣旨からはずれてしまいます。一人一人が大きな声で歌う習慣をつけるために、伴奏の CD はカラオケ演奏版を使用することをお勧めします。

ロータリーソングのローテーションは

福島 RC におけるロータリーソング歌唱のきまり

月初め 国歌斉唱

第 1 週 奉仕の理想

第 2 週 我等の生業

第 3 週 それでこそロータリー

第 4 週 福島ロータリークラブの歌

※第 5 週がある場合には、第 5 週に福島ロータリークラブの歌を歌う、第 4 週は奉仕の理想、又は我等の生業を歌う

オリジナルのロータリーソングについて

福島クラブでは、クラブ創立 20 周年（1971 年）にクラブの歌を作ることになり歌詞を募集しました。その 1 つが西形政次会員（福島西・西形会員の父君）の「福島ロータリーの歌」であり、他の 1 つが中村忠司元会員の「どんと行こうよロータリー」で、それに高野廣治会員が曲をつけたのです。曲の趣から「福島ロータリーの歌」は昼の例会で、「どんとゆこうよ」は夜の例会で歌うことになっていました。

作曲者の高野廣治さんは福島高商（現福大経済）卒の全くのアマチュアでありましたが、独学で学び、自ら FMC 混成合唱団を主宰し、やがて全日本合唱コンクールにおいて金賞または 1 位 13 回という前人未到の偉業をなしとげ、合唱王国福島の基礎を作った方です。本業は柳町で食品の卸売りで、1981-82 年度のクラブ会長を務められました。

クラブソングを歌う時は大変誇らしい気持ちになります。周年事業などを機にオリジナルのクラブソングを作られることをお勧めします。

ロータリーソング以外の歌を歌って良いか

例会におけるロータリーソングの歌唱は、ロータリアンとしての任務や目標を再認識し、またクラブとしての団結力を高めることに寄与しています。しかしながら、普段歌う以外の大方のロータリーソングはなじみが薄く、実際にほとんどの会員が歌えないのが実情です。会を和ませることがロータリーソング歌唱の意義であることに思いを致せば、日本では昔から親しまれて歌い継がれてきた四季折々の懐かしい童謡・唱歌があり、これらをロータリーソングに合わせて、老若会員皆で声高らかに合唱することによって、その意義が更に深まるものと考えます。福島クラブではかつて例会の開会点鐘前に日本の唱歌を一年間歌ったことがありましたが、日本の唱歌の美しい歌詞を味わうとともに、年配会員と若い会員の会話のきっかけともなりました。

新会員にロータリーソングを覚えてもらうには

新会員に早く歌えるようになってもらうには クラブの新会員セミナーで歌唱指導を行うこと、いつも歌うロータリーソングの CD を作成し、新会員入会時に差し上げること、ソングリーダーの研修会を開催し、指揮をする楽しさを体験してもらうことなどが挙げられます。

(文責 丹治正博)